

企業向けPDAシステムを一挙公開 無線LAN対応業務ソフトが話題に

MCPCC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)は9月5日、PDAを活用したモバイルソリューションの展示会「PDAソリューションフェア2003 in Tokyo」を開催。高速通信を実現する無線LANを使ったサーバー連携が話題になった。

PDAソリューションフェア2003 in TokyoはPDAを使った企業向けソリューションや技術動向を解説する「PDA活用セミナー」と展示会で構成されたビジネスイベント。さらに、「Bluetooth技術セミナー」「中小企業モバイル活用セミナー」も併催された。

このイベントは今年で第二回を迎え、端末メーカー、SIer、企業ユーザーを中心に来場者数は4515名を数えた。

PDA活用セミナーでは、すべてのセッションが事前予約だけで満席になるという盛況ぶり。基調講演で米マイクロソフトのモバイルデバイスグループのデブ・ライト・マーケティングディレクターが登壇し、同社が取り組むモバイル戦略を明らか

にした。

Bluetooth技術セミナーは昨年同様、立ち見ができるほどの人気セッションとなっており、最新のBluetoothの仕様動向に関心を持つ、端末ベンダー、ソフト開発者が参加し熱心に聞き入っていた。

今年から新しく始まった「中小企業モバイル活用セミナー」では、ノートPCやPDAなどモバイル端末を活用した中小企業の業務効率を改善するさまざまなソリューションが、事例を交えて紹介された。

高速化進むPDA端末

さて、展示会では企業向けの業務ソリューション展示を中心に41社のベンダーが出展。開幕前から多くの行列ができるほどの来場者で賑わ

っていた。

ここでは、PDA端末メーカー、周辺機器メーカー、ソフトベンダーなど主要ブースを紹介する。

来場者の関心が最も高かったPDA端末の分野では、マイクロソフト、NTTドコモ、NEC、東芝デジタルメディアネットワーク社、カシオ計算機、富士通、ソニー、京セラ、日立製作所、シャープの10社が出展。

マイクロソフトでは、対応端末をブースに並べ、最新のPDA用OS「Windows Mobile Software for Pocket PC 2003」を披露。無線LAN、セキュリティなどの対応を強化することで企業用途での実用性の高さをアピール。企業ユーザーからソフト開発者まで多くの来場者がブースでの説明に耳を傾けていた。

NTTドコモは、キーボード付きのCE.NET端末「sigmarion」(NEC製)、Pocket PC 2002対応端末「musea」(カシオ計算機製)を

展示。NECブースでも、sigmarionの実機を多数並べており、手にとった来場者が軽快に動く端末を高く評価していた。

東芝 デジタルメディアネットワーク社では、無線LAN搭載の「Pocket PC e750」などに加え、最新端末「GENIO e350」を披露。e750は無線LANを搭載し充実した仕様で企業向けにアピールしているのに対し、e350は機能をシンプル化することで軽量小型化を実現。企業に加え、コンシューマーにも訴求していくという。

カシオ計算機は、最新のPocket PC 2003に対応した「CASSIOPEIA E3000」を展示。日本ヒューレット・パッカドも最新の「iPAQ h2210」を参考展示。富士通は、「Pocket LOOX」を活用した業務ソリューションをパネル展示。業務効率化を図る企業ユーザーやSIerなど来場者の熱気に包まれていた。

ソニーは、普及型のCLIE「PEG-SJ33」からハイエンドの「PEG-NZ90」さらに最新の「PEG-UX50」まで幅広く端末を展示。なかでもPEG-NZ90に搭載された高精細な200万画素のカメラに注目が集まっ

ていた。

京セラでは、英intent社のOSを使ったPDA端末「Pocket Cosmo」を使い、データ検索やCADデータをSVG形式で保存できるソリューションを披露。Javaアプリケーションを高速に稼働できる点をアピールしていた。

また、PDA端末ベンダーの多くは企業利用に耐える高いセキュリティ機能をアピールしていた。

日立製作所は、CE.NET端末「NPD-20JWL」を活用しインターネットVPNに対応。シャープは、最新のザウルスを活用し、DDIポケットのIPv6に対応した実証実験サービスに対応。IPv6が持つセキュアなネットワークを実現できる点をアピールしていた。

バーコードスキャナーが小型化

周辺機器ベンダーでは、シーエフカンパニー、ハギワラシスコム、アドテックシステムサイエンス、シチズンCBM、ブラザー工業の5社が出展。

シーエフカンパニーは、PDAで稼働するCF対応の二次元バーコードスキャナー、SDIO NOWI対応の小型バーコードスキャナーなどを展

示。二次元バーコードスキャナーは、カメラが搭載され、撮影した画像を解析することで読み取る仕組み。QRコードに対応するという。SDタイプのバーコードスキャナーについて、多くの来場者がそのコンパクトさを高く評価していた。

ハギワラシスコムは、メモリースティック対応の無線LANカードを参考出品。さらにBluetoothを使ってPDAと通信を行う周辺機器も展示。

アドテックシステムサイエンスは、工作機械などとPDAを接続できる制御用のCFカードを出展。ロボットアームをPDAで操作するというデモを行い、珍しさもあって多くの来場者が集まっていた。

PDA対応のプリンターを展示していたのは、シチズンCBM、ブラザー工業の2社。シチズンCBMでは、ロール紙を使った小型プリンターを展示。PDAだけでなく、携帯電話のiアプリを活用しrMCプロトコルを利用して印刷ができる赤外線ポートを実装。説明員は、「保守業務などで、出先での領収書発行に最適だろう」と話していた。

ブラザー工業も、超小型プリンター「MW-100e」を展示。厚さ17.5ミ

NTTドコモ常務取締役の谷公夫 MCPCC副会長が開会挨拶。セミナー会場は熱心な聴講者で全セッション満席になった。



展示会場は最新端末を使ったソリューションを一目見ようとする来場者の熱気で包まれていた。

NECブースでもsigmarionの実機を使ったデモを行っていた。



日立製作所は、CE.NET対応端末「NPD-20JWL」にバーコードスキャナーを搭載したシステムを展示。



富士通では「Pocket LOOX」モバイルプリンターなどをBluetoothによるネットワークを構築。



京セラブースでは「Pocket Cosmo」上で、SVG形式のCADデータ表示するJavaアプリケーションを稼働させ、その高速性をアピールしていた。



シーエフカンパニーのブースでは、SD対応のバーコードスキャナー、CF対応の二次元バーコードなどを展示。



アドテックシステムサイエンスは、CF対応制御用カードとPDAを使ってロボットアームを操作。



ハギワラシスコムのメモリースティック対応の無線LANカード(参考出品)。



シャープのZaurusではIPv6対応AirH(実証実験用)カードと組み合わせ高度なセキュリティに対応。



Suicaカードの残高が分かるFeliCaリーダー機能を搭載したハイエンドのCLIE「PEG-NZ90」。



リという世界最薄サイズをアピールしていた。

PDA 対応リーダー/ライター

PDA ソリューションでなくてはならないのが、ソフト分野である。

業務アプリケーションのインフラともいえるデータベース分野では、構造計画研究所の「XTND Connect(エクステンドコネクト)」、アイエニウェア・ソリューションズの「SQL Anywhere Studio」、神戸製鋼所の「Solid Flow Engine」が展示された。

神戸製鋼所では、データベースとRFID(ISO15963対応)を活用したシステムを披露。デモブースでは、RFIDを取り付けた料理を載せる容器や、RFID搭載のプリペイドカードをお盆に載せ、トレイ型のセンサーの上に置くと、瞬時に個数と値段を集計。RFIDに記憶させたデータを暗号化することで、改ざんを防止できるソリューションとしてアピール。また、PDAに取り付けられるCF対応の超小型RFID用リーダー/ライターを使って在庫参照のシステムと連動するデモも展示していた。

モバイル分野では欠かせないミドルウェア分野では、DDIポケット、

アイコンが、PHSを使ってリモートによってPDAの電源を入れ、特定のアプリケーションを起動できるソリューションを展示。伊藤忠テクノサイエンスでは、データ圧縮により高速通信を行う「FastCONNECT」を展示。多くのアプリケーションに適用できることから、来場者の関心が集まっていた。

その他に、株式関連ニュース大手のQUICKでは、PDA向けのコンテンツとして株価情報サービスを実機を交えて紹介。リアルタイムに株価や関連ニュースを提供するもので、詳細なグラフや他ではなかなか手に入らない株価ニュースなどが好評であった。

無線P2PでVoIPを実現

併設の中小企業・SOHOソリューションコーナー、無線LAN体験コーナーも多くの来場者で賑わっていた。

中小企業・SOHOソリューションコーナーでは、アイティソリューションサービス、東芝パソコンシステム、京セラ、NTTドコモの4社が出展。NTTドコモは、位置情報を活用した「DoCoです・Car for BUS」を展示。これはGPSやDoPaを活

用することで、携帯電話からバスの運行状況が分かるというASPサービス。説明員は「バス会社だけでなく、企業やホテルの送迎バスでも導入が進んでいる」と話していた。

展示会の外側に設置された無線LAN体験コーナーでは、公衆無線LANサービス「mZone」を使ったNTTドコモ、無線LAN対応サーバーを組み合わせたソニーブロードバンドソリューション、ワイヤレスP2Pを披露した東洋通信機(トヨコム)が出展。コーナーでは無線LAN搭載のPDAを貸し出しており、高速通信を体験しようと多くの来場者でごった返していた。

なかでも、注目が集まったのは、トヨコムによるワイヤレスP2P対応VoIPのデモ。サーバーを使わずに端末間で音声通話ができるというもので、その音質を確かめようと多くの来場者が集まっていた。

その他にも、多くの出展社によってPDAを活用したモバイルソリューションが所狭しと展示されていた。

このように、周辺機器、ソフトが充実しセキュリティ対応も進み、企業のPDAの実用度がますます高まっていることが感じられた。



ヒブラザー工業の超薄型モバイルプリンター「MW-100e」



s シチズンCBMの赤外線(IrMC)対応超小型プリンター



アイエニウェア・ソリューションのモバイルデータベース「SQL Anywhere Studio」を搭載したPDA(シンボルテクノロジー製)



IDリーダー/ライターを搭載したPDAを組み合わせてリアルタイム対応の在庫引当システムのデモを披露(左)RFIDを取り付けた容器とプリペイドカードを使った集計システム。データ暗号化に対応(右)



神戸製鋼のモバイルデータベース「Solid Flow Engine」と、RF

中小企業・SOHOソリューションコーナーには東芝パソコン、アイティソリューションサービス、京セラ、NTTドコモが出展。モバイルを活用したさまざまな業務改善提案を行っていた



NTTドコモ、ソニー、東洋通信機が無線LAN体験コーナーを開設。来場者は無線LAN搭載のPDAを使って高速通信を体験した